

2021年9月1日

幼保連携型認定こども園 西神戸 YMCA 保育園 9月えんだより

9月聖句：「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも
互いに愛し合いなさい」 <ヨハネによる福音書 13章 34節>

厳しい暑さと稀にみる長雨の続いた夏でした。朝晩の涼しい風に触れますと、季節が進んだようにも感じます。乳児の子ども達は、自分の周りのことに関心を持ち、自分の遊びやお友達に目や心を向けつつ過ごしています。又、幼児のお友達は、体を動かすことの楽しさを感じながら、好きな遊びや集団での取り組みが続けられています。

YMCAの園では、一人ひとりが、自分が愛されている、かけがえのない存在であることを知り、自分とお友だちの「ありのまま」を愛し、赦し、そしてお互いを認め合って、大切にしていこうと目指しています。「赦す」ことは、諦めることではなく、自分を信じ、相手を信じ、未来に希望を持つことで、赦すことができるのではないかと思います。又、園では、一人ひとりが「自分でやってみよう」とする主体的な気持ちを大事にして、子ども達の自立していく可能性に寄り添います。一人ひとりの全存在を認め、愛し、励ますことで、子ども達自身が「自らやってみよう」と動き始めます。そのような園でありたいと思います。

昨年2月頃を思い返しますと、「マスク」の在庫が底を尽き、どこに頼んでも品切れで、値段もどんどん値上がりする状況がありました。手当たり次第に探し続けた際に、園の事情を説明すると「皆さん大変ですね。子ども達って、今、大丈夫！と思われていますもんね。」と翌日に「少し大きめの子ども用で宜しければ…」とマスクをたくさん提供して下さった方がいました。皆が切望している時期に、幼い子ども達のことを思い、見知らぬ人に与えることは、昨年あの時期に、できることではなかったと思います。今思い返しても感謝の思いしかありません。しかし、考えてみますと、人間に対して神様が求めておられる「愛」とは、このような愛ではないかと思います。神様は、心の手を伸ばし、心の扉を開けて、この愛をただ受け取りさえすれば、私たちのものとなる。そのような愛を受けたのなら、今度は、私たちがその愛を他の人に分かち合っていく番になっていきます。

現在は、まだ新型コロナウイルスに対しても、見えない未来に対しても、誰もが不安を感じている時です。言い換えると、愛に渇いている時とも思います。このような困難な時だからこそ小さな愛が心に染みます。愛の光は、輝きを増していきます。少しずつ愛の種をまいていきたいと願います。

年主題 『共に喜んで』 ～ すべての歩みの中 ～

9月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	あそぼう	いっしょに
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> * 生活の場を広げ、いろいろな遊びを試してみる。 * 保育者や友だちと共に体を動かす喜びを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 平和を考え、願い、共に祈る。 * 友だちと共にいることを喜び、体を十分動かして遊ぶことを喜ぶ。 * 新しい発想や意欲をもって、試してみる。
讃美歌	ちから	ちから 幼児讃美歌 II 15